

# スクエアダンス十則

## 第1則 **良く耳を傾けよ** (Be a Good Listener)

踊っているときに声を出さない、ホールには1人のコーラーしかいないことを忘れてはならないもし、どうしても教えた時は、ダンスが終わってからにしてください、ダンサーの私語によってコールを聞こうとしている人を困らせるからです。

## 第2則 **セットを早く作れ** (Get into squares Quickly)

ダンスは8人がそろわなければ始めることが出来ません、音楽が鳴ったらすぐにセットを作る努力をしましょう、人数が足りないセットは指をあげてまわりに知らせましょう、足りないセットに参加するときに走って他のセットの真ん中を突っ切って行くことは厳禁です。

## 第3則 **礼儀正しくあれ** (Be a Courteous Dancer)

最上の礼儀は常に感謝することである、セットに入ったら全ての人に軽く目礼ぐらいは交換したいですね、一度セットに入ったら踊りが終わるまで仲間を残してセットから抜けないで下さい、終わったときもパートナーやセットの人達に感謝の気持ちを表しましょう。

## 第4則 **時間を守れ** (Be on Time for Club)

例会に1人が遅れることは他の7人が踊れないことを意味しています、自分1人くらいはという感覚はすてましよう、遅れてきたり、早く帰ることはコーラーの用意したものを完全に利用しないことになります。

## 第5則 **考え深くあれ** (Be a Thoughtful Dancer)

個人の清潔さは、他の人と接近して、しかも運動量のはげしい活動にあって、特に大切なことです、お互いに気持ち良く活動するためには、服装にも注意して、特に踊りの前のアルコールは厳禁です、

## 第6則 **協力を惜しむな** (Be a Cooperative Dancer)

ダンスは8人の協力で成り立っています、良いリードとは押たり、ひっぱたりすることではなく自分に与えられた分担を正確に果たすである、クラブの活動においても常に自分に出来ることは何があるか考えることである」

## 第7則 **無理をするな** (Take it Easy)

度をすごしてはならない、疲れたら腰をおろしなさい、時には見ること、聞くことによりまなぶこともできます、ただし、ひとに誘われて断った時は、同じチップでたとえキムタクの誘われても踊ってはいけません。

## 第8則 **友情を深めよ** (Be a Friendly Dancer)

スクエアダンスの最大のプレゼントは友情である、いつでも可能なかぎりちがった人と踊るようにしましょう、特に男性または男性役の人は、新人ダンサーや前のチップで休んでいたダンサーに声をかけましょう。

## 第9則 **常に学べ** (You Never through Learning)

踊っていて、もし不明な点があれば、先輩やコーラーにたずねるべきです、そのことは、コーラーにとっても、他の人にとってもプラスになるからです、踊り方、歩き方、コスチューム、など学ぶべきことはたくさんあります。

## 第10則 **ほほえみを持って** (Enjoy yourself have Fun)

楽しみは伝染します、あなたのほほえみがダンサーに与える影響は大きい。

\* スクエアダンスを踊りにくることは、楽しい時間を期待することである、そのためにはマナーを守り踊りが終われば、笑顔で拍手することによって、コーラーをたたえ、セットの仲間に感謝をし、ダンサーとしての仕事を完全に成し遂げた自分自身をも、たたえよう、以上はアメリカのスクエアダンス専門誌 (Sets in Order) の記事を、名児耶 貞氏が訳したものである。